

テーマ:造形

高南保育園(豊島区)

テーマを設定する

・本年度より本園では、OJTの取り組みを1年間やるグループ活動に「造形グループ」を組み、1年間の計画を立てました。①廃材を使って作ってみよう ②絵具を使って描いたり、表現したりを楽しもう ③いろいろなものでツリーを作ろう計画を立てた中で、造形活動を職員も子どもも楽しんで取り組みながら、造形活動(想像力・創作力・素材選びなど)の豊かさを共感していく。

活動① アーティストワークショップ1

大きな布に絵の具を使って自由に描く活動

環境をデザインする

●準備した物 布5枚、アクリル絵の具、容器、刷毛、ホール全面養生

探究活動を実践する

●活動内容

- ①絵本「もりのおふとん」の読み聞かせ
- ②大きなお布団が5枚。おふとんに入って寝たり、遊んだり。
- ③アーティスト「グループに分かれておふとんをカラフルにしてみようと思います。」えのぐが配られたら、ぐるぐる混ぜる。
- ④おふとんに刷毛でえのぐをぬる/途中で白をまぜて色のトーンを変える/ スポンジや紙管でスタンプをペタペタ/身体にえのぐをぬったり、えのぐの上を歩いたり、自由にぬって、あそんで、終了

●子供たちの様子

・腕を大きく動かして、ぬりぬりべたべた。色を重ねてみよう。「あ！むらさきになった！」「夕焼けおそらのいろ！」「ここはソーダのいろ！」「〇ちゃんのとくつついた」など色の変化や混色への気づきがあった。
・えのぐの上を歩いてみると・・・ぬると滑って、おととと！足の裏に感じる感触が他の絵の具の場所とちがうことに気づいて「ここ、すごい！」
・「あしのあと、ついたよ！」よく見るといろいろな色がかくれている。自分の足のうらも見てみると「うわ！いろがいっぱい！」

活動スケジュール(3歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:小村歩(造形教室「南京豆」主宰・造形ワークショップデザイナー)他1名	R6.10.17 (木)	45分程度	20人
② アーティストワークショップ2 講師:小村歩(造形教室「南京豆」主宰・造形ワークショップデザイナー)他1名	R6.11.15 (金)	55分程度	20人
③ 保育園活動①3・4・5歳縦割り活動 ②1・2歳縦割り活動	①11月3月 ②2月	30分	コーナーで10人くらい



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

・大きな紙に絵の具で描く活動をした後で、外部講師による布に描く活動をしたことで、ほとんどの子が臆することなく勢いよく描いていた。紙に描いたときの経験から、自分の手足に塗ったりする姿が見られた。
・絵具の上を滑ったり、同じ場所をぐるぐると丸く塗り続けて、ぬる行為自体を楽しむなど、身体を使って感触を楽しむ姿も見られた。
・言葉の発達が早い子は「空の色、ソーダの色、むらさき、ピンク」など発見した色や色のイメージの発語があり、イメージの広がりが伝わった。

テーマ:造形

高南保育園(豊島区)

活動② アーティストワークショップ2

園の行事で発表する絵本「めっきらもっきらどおんどん」の劇に取り組んでいる時期に2回目を実施。前回描いた布を使って、劇に出てくるマントとトンネルを創作する造形あそびを実施。おふとんに見立てていた布が2つに分かれるようになっており、白い部分を切って一人一つのマントに、黒い部分をつなげてトンネルにした。

環境をデザインする

●準備した物 クレヨン、ゴム、フェルトシール、角材、園芸ポール

探究活動を実践する

●活動内容

①前回色を塗った布の白い部分を、55cmほどの正方形にカットした布を一人一枚配る。アーティスト「もっとすてきなマントにしたい。どうしたらいいかな？」子どもたち「カラフルにしたい」「あなをあげたい」「しかくがいい」...

②一人ずつ、自分のマントにクレヨンで描いていく/マントの穴にゴムひもをとおして、かぶる。/モモンガになって走り回る子どもたち。

③アーティスト「次はトンネルをつくるよ」黒い部分を5枚並べて貼り付け、大きな黒い布にする。つなぎ目にフェルトシールを貼って装飾しながら接着。

④みんなで大きな布をもって、用意してあった骨組みにかけたら、トンネルの完成。/トンネルをくぐって遊んで、終了。

●子供たちの様子

・布のシワでクレヨンが引っかかることに気づいて片手でしっかり押さえて描く。指を細かく動かしてしっかり塗り込む。

・3~4本を一度ににぎって描こうとしたがうまく色がつかず、1本ずつでトライ。腕をすばやく動かしたり、打ち付けるように短い線を連続させたり、色と線が勢いよく生まれていくのを楽しんでいた。

・「これはたこ。これはおさかなだよ」布に描かれていた色や形がイメージのきっかけになっていた。



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

・これまでクレヨンを使う経験が少なかったし、布に描く難しさもあり、初めは戸惑っている姿もあったが、それぞれが工夫しながら自分で描き方を発見していく様子が見られた。

・マントを付けると一瞬でモモンガになって、走り回る子どもたちの姿があった。自然な表現を劇にも活かしていきたい。

・黒い布をつなげてフェルトシールをはって行く工程では、大人の予想よりも、布のつなぎ目にシールを貼って接着するという意図を理解して、声を掛け合って集中してつなぎ目に貼っていたが、大きな布が出来上がると、前回の遊びを思い出して喜んで中に入っていたようだった。

・造形物を今後の劇あそびでも使いながら次につなげていく予定。